PP31　国連番号が1362、1463、1565、1575、1626、1680、1689、1698、1868、1889、1932、2008、2009、2471、2545、2546、2881、3048、3088、3170、3174、3181、3182、3189、3190、3205、3206、3341、3342、3448、3449及び3450の危険物に関して、容器は気密に密封すること。
PP34　国連番号が2969の危険物に関しては、ヒマの実に限り、5H1、5L1及び5M1を使用することができる。
PP37　国連番号が2212及び2590の危険物に関しては、非開放型の貨物輸送ユニット内又は非開放型の硬質のオーバーパック内に収納して運送する場合に限り、5M1を含む袋を使用することができる。
PP38　国連番号が1309の危険物に関しては、非開放型の貨物輸送ユニット内に収納する場合又はユニット貨物として運送する場合に限り、袋を使用することができる。
PP84　国連番号が1057の危険物に関しては、第25条の4に規定する容器等級Ⅱの危険物に係る要件に適合する硬質の外装容器を使用すること。容器は、移動、機器の不慮の着火又は引火性のガス若しくは液体の不慮の漏えいを防ぐように、設計され、構成され、又は設置されなければならない。
PP85　国連番号が1748、2208、2880、3485、3486及び3487の危険物に関しては、袋を使用しないこと。

P003

外装容器の種類	外装容器の許容容量又は許容質量
適当な容器	400kg

注　1　容器検査を必要としない。
　　2　追加規定の欄に掲げる記号の意義は、次に定めるとおりとする。
PP16　国連番号が2800の危険物に関しては、容器内において短絡を防ぐものであること。
PP17　国連番号が2037の危険物に関して、容器の正味質量は、それぞれ、ファイバ板製外装容器を使用する場合にあっては55kgを、他の外装容器を使用する場合にあっては125kgを超えないこと。
PP18　国連番号が1845の危険物に関して、容器は破裂に至るような圧力上昇を防止するため、炭酸ガスを放出することができる構造であること。
PP19　国連番号が1327、1364、1365、1856及び3360の危険物に関しては、ベール状のものとして運送することができる。
PP20　国連番号が1363、1386、1408及び2793の危険物に関しては、全ての容器（粉末不漏性かつ裂け防止型のものに限る。）を使用することができる。
PP32　国連番号が2857及び3358の危険物に関しては、木枠又は適切なオーバーパックに収納して運送するときには無外装で運送することができる。
PP90　国連番号が3506の危険物に関しては、容器の位置又は向きにかかわらず、輸送物からの内容物の漏えいを防止するための内張りで密封された若しくは内容物に対して不浸透性の強力な漏れ防止及び破損防止材質製の袋が使用されなければならない。

P004

内装容器の種類	内装容器の許容容量又は許容質量	外装容器の種類	外装容器の許容容量又は許容質量
1A2、1B2、1N2、1H2、1D、1G、4A、4B、4N、4C1、4C2、4D、4F、4G、4H1、4H2、3A2、3B2又は3H2であって、容器等級がⅡの危険物を収納することができるもの			
強固な容器（装置内に収納されているもの又は装置と共に収納されたものに限る。）			

注　1　燃料電池カートリッジが大型で強固な装置内に収納されている場合には、無外装で運送することができる。
　　2　燃料電池カートリッジが装置と共に収納されている場合には、内装容器又は外装容器に収納すること。外装容器に収納する場合にあつては、外装容器内での移動に起因する損傷を防止するために、外装容器内に緩衝材又は仕切り材を用いなければならない。
　　3　装置内に組み込まれた燃料電池カートリッジは、短絡を防止できるものであり、かつ、装置は不用意な操作から保護されていること。

P010

内装容器の種類	内装容器の許容容量又は許容質量	外装容器の種類	外装容器の許容容量又は許容質量
ガラス製容器	1L	1A1、1A2、1H1、1H2、1D、1G、4A、4C1、4C2、4D、4F、4G又は4H2	400kg
		4H1	60kg
鋼製容器	40L	1A1、1A2、1H1、1H2、1D、1G、4A、4C1、4C2、4D、4F、4G又は4H2	400kg
		4H1	60kg
1A1			450L
3A1			60L
6HA1			250L
IMDGコード4.1.4.1の「P200」に規定されている高圧容器又は規則第8条第3項第3号に規定する鋼製高圧容器であつて、IMDGコード4.1.3.6の要件に適合するもの（火薬類、熱的不安定物質、有機過酸化物、自己反応性物質、化学反応により圧力が発生する物質及び放射性物質を除く危険物を収納する場合に限る。）			

P099

x

P101

x

P110(a)

内装容器の種類	中間容器の種類	外装容器の種類	外装容器の許容容量又は許容質量